

SHINCHU

2021

No.603

広報

新地 9

町内の夜空を彩る打ち上げ花火

(5ページに関連記事)



新地町少年の主張大会

主催 新地町青少年健全育成町民会議
共催 “社会を明るくする運動” 新地町推進委員会

「第25回新地町少年の主張大会」が7月19日、文化交流センターで開催され、町内小中学校の児童生徒9名が日頃の想いをテーマに普段の家庭や学校生活で感じていることを発表しました。

小学生の部では、最優秀賞に寺島柚希さんの「感謝されるということ」、優秀賞に山口煌斗さんの「ぼくの成長」が選ばれ、中学生の部では、最優秀賞に阿部俊介さんの「わたしたちの地球について」、優秀賞に杉平結菜さんの「いじめのない世界にするために」が選ばれました。

次ページより各部の最優秀賞作品を掲載します。



「感謝されるということ」



寺島 柚希さん
新地小 6年

「パティシエール」



寺島 陽向さん
新地小 5年

「学校へ行く意味とは」



吉田くるみさん
福田小 6年

「挑戦」



荒 瑞雲さん
福田小 5年

「わたしたちの地球について」



阿部 俊介さん
尚英中 3年

「いじめのない世界にするために」



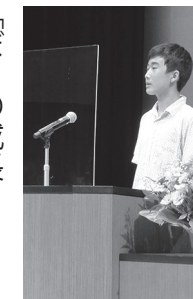
杉平 結菜さん
尚英中 2年

「日常の笑顔」



川崎 寧子さん
尚英中 1年

「ぼくの成長」



山口 煌斗さん
駒ヶ嶺小 6年

「未来の海を守るために」



渡部 日和さん
駒ヶ嶺小 5年

最優秀賞

新地小学校6年 寺島 柚希

「感謝されるということ」

していいか分からず、ただ戸惑うばかりでした。

学校も大きな被害を受けました。壁にひびが入り、体育館は使えなくなりました。みんな集会を行っていた観海ホールも使用できなくなり、みんなで集まって話を聞くこともできなくなってしまいました。残念な気持ちでいっぱいでしたが、このままでは始まらない。そこで私たち六年生は、学校をきれいにしようということで掃除をはじめました。ガラスが飛び散った図書室、物が散乱した体育倉庫、その他、校舎内でできることはすべて手分けして清掃しました。

すると、たくさんの先生方から「ありがとう。」と感謝されました。清掃は大変だったけれど、やって良かったなあという、すがすがしい気持ちになりました。「ありがとう。」葉だなあと改めて感じました。「ありがとう。」伝えた相手も、伝えられた相手もお互い気持ちよくなれる魔法の言葉

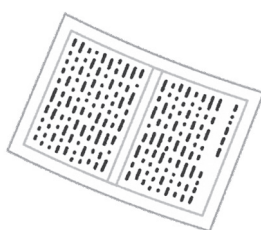
だと思えます。

しかし、実際はどうでしょう。何か。何事もやってもらって当たり前になっていませんか。消しゴムを拾ってもらったとき、友達に励ましてもらったとき、勉強を教えてもらったとき……。身の周りには、たくさん感謝を伝える機会があります。学校だけでなく、仕事など大人になっても「ありがとう。」を伝える場面はたくさんあります。それら全てに素直な気持ちで「ありがとう。」と言っているでしょうか。たとえ小さなことであっても、仲が良い友達であっても、相手の思いやりに対してお礼の気持ちを持つことは大切だと思います。感謝の気持ちを大切にできる人こそ、本当に心の温かい人なのではないでしょうか。

最初に述べましたが、現在新地小学校では体育館が使えません。しかし、私たちの思い出の体育館で卒業式が行えるよう、校長先生が一生懸命頑張ってくださいます。また、休日には学校の被害状

況の調査のために、たくさんの方々が来てくださいます。両親は、いつも家族のために一生懸命働いてくれます。どんなに疲れていても笑顔で接してくれます。お母さんは、おいしい料理を作ってくれたり、家の掃除や洗濯をしてくれます。お父さんは、週末必ず家族でお出かけができるように考えてくれます。いつも家族のために一生懸命な両親に感謝の気持ちでいっぱいです。身の周りの支えがあつてこそ、何不自由なく学校生活を送れているのだと改めて感じた瞬間でした。

「ありがとう。」たった五文字ではありますが、伝えられた相手は「やって良かった」という気持ちになり、伝えられた相手も嬉しい気持ちになる魔法の言葉。私はこれからいつ誰にでも感謝の気持ちを持つて接していける温かい人になります。私たちがこれから歩む社会の中に、もっともつと「ありがとう。」という感謝の気持ちがあふれることを期待しています。



「わたしたちの地球について」

私は先日学校へ登校する際、道路の脇に大量のごみが捨てられているのを見かけました。みなさんの中にもこのような体験をしたという人も少なくないと思います。私は当然、朝から不快な気持ちになりました。ごみを捨てた人は何も考えずに捨てたことでしょうか。なぜこんなにも多くのごみが出るのでしょうか。

近年、ごみの排出量が非常に増えていきます。日本で一年間に排出されるごみの量は、およそ5億トンです。これは一ヶ月に東京ドーム一千杯分の量にもなるということです。

ごみの主な種類は、タバコ、空き缶、ペットボトルやレジ袋などの使い捨て容器、包装紙や新聞・雑誌、食べ残した食品など、言い始めたら止まりませんが、これらのものには大きな共通点があります。それは、安価で入手するのが簡単だということです。基本的にそのものが高価なものだったり、必要不可欠なものだったり、必要不可欠なものだったら大切にしたり、何回も繰り返し使ったりしますが、近年は技術が発達し、便利な時代になった分、耐久消費財の頻繁な買い替えや使い捨て商品の増加などにより、ものを大切に扱い、なるべく最後まで使うというリデュースの意識の薄さが大きな要因だと考えられます。

また、ごみの多量な排出による影響を受けるのは私達人間だけではありません。それは自然界です。もはや人間への影響より自然界への影響のほうが深刻でしょう。皆さんも知っている通り自然界では海洋プラスチック、いわゆるマイクロプラスチックが、問

題視されています。海洋生物がプラスチック製品を餌と間違えて取り込んでしまい、それが体内を傷つけたり、腸閉塞により死んでしまうのです。また、体内への影響が生じるのは私たち人間も同じです。もしマイクロプラスチックを飲み込んだ魚が、みなさんもよく利用するスーパーマーケットなどに出回れば、その魚を買い求め、食べる人がいます。人間が捨てたプラスチックを遠海で取られた魚が飲み込み、私達がその魚を食べるのです。まさに因果応報です。

これらのことを防ぐために世界ではSDGsと呼ばれる持続可能な開発目標に取り組んでいます。その目標には先述した海洋ごみの問題も含まれています。では私たちはこの地球のために今から何ができるのでしょうか。世間では、主に3Rのリデュース、リユース、リサイクルが循環型社会に重要だと考えられています。ものを繰り返し大切に使うこと、ごみになるものを減らすこと、ごみになるものを

原材料として再利用することなど、私たちが今から出来ることはたくさんあるのです。ここでみなさんに一つの言葉を紹介したいと思います。

それは「小さなことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道。」という言葉です。この言葉は、元プロ野球選手、イチロー選手のものであります。この言葉の本意は、毎日の小さな練習や努力が甲子園だったり、全国大会だったり大きな目標を達成する一番の近道だ、ということだと思えますが、このごみ問題にも当てはまると私は思います。小さなことを積み重ねてない意識だったり、なるべくものを長く使い、ごみの量を1グラムでも減らすことだったり、私たちの日常生活で、全て可能な当たり前のことなのです。つまり、世界を一番綺麗にする方法が、私たちにとって一番身近なことであり、一番簡単なことだということです。

現在、バイオマスプラステ

ックや紙製品が代用品として考えられていますが、これまでに使用されてきたごみの量を考えると、地球は今、そして未来も危機的状況だと言えます。未来、そこで新たに海や空、陸地が創りだされるわけではありません。今、私たちが立っているこの世界が未来につながっています。海との結びつきの強い新地町に住む私たちは、3Rだけでなく世界中の人々と手を携え、命のサイクルを考えていかなければなりません。過去を造りかえることはできませんが、未来はそれが可能です。私たちの小さな意識が、多くの動物の命を救ったり、節約できた資源を未来でより多く使用できたりと、デメリットなんて一つもありません。人間も動物も植物も不自由なく共存できるクリーンな地球を私たちの手で取り戻しましょう。

町内で花火打ち上げ

新型コロナウイルス感染症感染拡大のリスクを踏まえ、今年度の「遊海しんち 2021」のイベントは中止しましたが、今年町制施行 50 年を迎えること、福島県沖地震やコロナ禍の困難な状況にある方々を勇気づけるため、8月7日、福田・新地・駒ヶ嶺地区の3か所のほか陸上競技場で花火の打ち上げを行いました。

天候にも恵まれ、夜空を彩る花火を観覧できました。



SHINCHI 新地高校 HIGH SCHOOL

体験入学

来年度開校予定の相馬総合高校の体験入学が7月29日（木）、相馬東高校において、行われました。当日は新地高校と相馬東高校の生徒会役員がそれぞれ学校紹介をしました。新地高校の生徒会役員は「おもひの木プロジェクト」の紹介をしました。震災の風化を防ぎ、命を尊重する姿勢やボランティア精神を涵養させる本校の特色ある取り組みについて、パワーポイントを活用して中学生たちに説明しました。多くの中学生をお迎えし、授業体験や部活動見学を通して、進路意識の啓発を図ることができました。

新地駅前複合商業施設（観海プラザ）

町では、複合商業施設空き区画への新テナントを募集しています。

入居を希望される方は募集要項をよくお読みの上、申込書に必要書類を添えて、役場2階企画振興課へお申し込みください。

募集期限：9月21日（火）まで

募集数：1区画

施設の概要

所在地	新地町駅前一丁目5番地 D棟-2（新地駅西口）
募集施設	商業テナント（物販系、飲食系、サービス系）
募集面積	約67㎡（約20坪）／1区画
使用料	2,000円／坪・月
備付設備	光ファイバー、トイレ、火災警報器等



申込方法：募集要項・申込書類等は、企画振興課の窓口で配布しております。

また、町のホームページからダウンロードすることができます。

◎問い合わせ 企画振興課（電話：62-2112）



新地の風景 齋藤研展 町制施行 50 周年記念

「我が愛する町・齋藤研の新地」展開催

齋藤研氏の絵画展が、文化交流センター（観海ホール）で8月1日から10日まで開催されました。

開催初日の8月1日には、オープニングセレモニーやギャラリートークが行われました。

絵画展では新地の風景画等82点の作品が展示され、来場者を魅了しました。



東北学院同窓会相馬支部

福島県沖地震の災害復旧に寄与

東北学院同窓会相馬支部から7月16日、町へ寄附をいただきました。

遠藤支部長、佐藤副支部長、池田副支部長、鈴木実行委員長、野坂実行副委員長、伏見監事が町役場を訪れ目録を大堀町長に手渡しました。

寄附金は、2月13日に発生した福島県沖地震の災害復旧のために使われます。



株式会社楽天野球団東北楽天ゴールデンイーグルス「がんばろう東北シリーズ」

東日本大震災からの復興を願う

7月20日に株式会社楽天野球団東北楽天ゴールデンイーグルスの辻マネージャーが町役場を訪れ、大堀町長に「がんばろう東北」町名入り記念キャップなどを寄贈しました。「がんばろう東北シリーズ」は、震災を風化させず東北から元気を発信するために始まったものです。

寄贈していただいた記念キャップは、がんばろう東北シリーズの試合で実際に西口直人投手（背番号62）が着用して登板し、直筆サインを施したものです。



東京五輪野球始球式

小泉選手が捕手を務める

7月29日、福島県営あづま球場で東京オリンピック野球競技の始球式が行われました。

始球式では、尚英中学校3年小泉直大さんが捕手として大役を務めました。

町役場を訪れ、「東京オリンピックの始球式という貴重な舞台に送り出してくれた人に感謝し、この経験を様々なことに生かしたい」と大堀町長に感想を述べました。



株式会社リード



教育振興の支援

8月4日に株式会社リードの鍋谷代表取締役が町役場を訪れ大堀町長に寄附金を贈呈しました。

贈呈していただいた寄附金は教育振興のために活用されます。

東北電力ネットワーク株式会社相双電力センターと株式会社ユアテック相双営業所

防犯灯贈呈

7月20日、東北電力ネットワーク株式会社相双電力センターと株式会社ユアテック相双営業所からLED街路灯具15基の寄贈がありました。

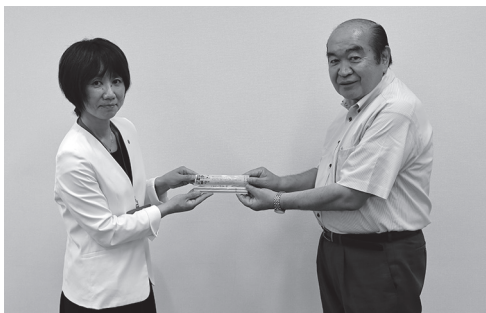
東北電力ネットワーク株式会社相双営業所の目黒所長と株式会社ユアテック相双営業所の福田所長らが町役場を訪れ、大堀町長に目録を手渡しました。

贈呈者を代表し目黒所長が「街路灯具が町の未来を照らす一助になれば」とあいさつしました。

これらは防犯灯として町内各地に設置されます。



第一生命保険会社福島支社相双営業オフィス



子どもたちへの支援

7月29日に第一生命保険株式会社福島支社の長塚相双営業オフィス長が町役場を訪れ、佐々木教育長に鉛筆(2本入り)を寄贈していただきました。

鉛筆は健やかな子どもたちの成長に向けての支援とすることで、2Bでヒノキの間伐材を使用しています。

寄贈していただいた鉛筆は各小学校の1年生に配られます。

東北復興宇宙ミッション

宇宙から無事に帰還

東日本大震災の復興支援への感謝を世界に発信する東北復興宇宙ミッションで6月に宇宙へ打ち上げられた新地町のゆずの種が8月に帰還しました。

事業の事務局長を務める一般財団法人ワンアースの長谷川代表理事が町役場を訪れ、帰還した種とフライト証明書を大堀町長に手渡しました。





8月のたんぽぽひろばは毎年恒例となっている夏ならではの活動「水遊びとすいか割り」です。児童館の庭に、家庭用のプールを出して、かわいらしい水着に着替えたらさっそく水遊びをスタート！

楽しかった夏の思い出「水遊びとすいか割り」



たくさんさんの水遊びを楽しんだ後は、児童館内ですいか割りを行いました。大きなすいかを長い棒でたたくと、美味しそうな音が「コン」とするので、食べるのが楽しみになったようです。赤く熟れたすいかを食べながら夏の楽しいひと時を過ごしました。



じょうろや空のペットボトルを使って水を汲んだり、手にかけて水の冷たさを感じながらたつぷりと遊びました。ホースを使って霧状にしたミストをかける涼しさも加わり「気持ちいいね」と喜んでいました。

児童館のご利用案内	
開館時間	月曜～土曜 10時～18時
休館日	日曜日・祝祭日・年末年始
午前	なかよしひろば（月曜～土曜）
午後	児童クラブ
	※土曜・長期休業期間は8時～18時
◎問い合わせ	児童館（電話：62-4432）



※参加には事前の予約が必要です。

今後の行事予定について、新型コロナウイルス感染症の状況により内容の一部変更や中止になる場合があります。

詳しくは新地町ホームページ内「子育て支援サイト」をご覧ください。



町ホームページ

たんぽぽひろばの予定

月日	内容	場所
9月8日(水)	わくわく！ゲーム大会	児童館
9月22日(水)	ペープサートを楽しもう	児童館
10月6日(水)	たんぽぽひろば運動会	児童館



保育所から
こんにちは
福田保育所

楽しいイベントいっぱい！5歳児の保育より

行事予定

○運動会
25日 各保育所
○育児相談
随時受け付けています。

9月

子どものひんやき
M君「先生、アリゲーターって知ってる？」
保育士「なんだろう？」
R君「ぼく知ってる！アリ型のロボットだよ！」
M君によれば、アリゲーターとはワニのことでした。

年長組（5歳児クラス）の子ども達は現在、新地町の3つの保育所に69名が在籍しています。

いろいろなことに挑戦！

年長組では毎月1回、お楽しみ会を行っています。担任の保育士が4月に1年間の計画を立て、実施しているものです。

今年度、福田保育所では、
○4月～お花見会をしよう！

○5月～ブラックライトシアターを見よう！

○6月～生け花に挑戦！

○7月～宝探しをしよう！

○8月～すいか割り大会！など、行ってきました。

9月以降もクッキングやスタンプリナーなど、「保育所って楽しい！」と思え



▲すいかわり大会



▲生け花体験



▲ピアノカ



▲文字の書き取り

小学校就学に向けて
基本的な生活習慣を身に付けながら、教材を使って文字や数字の書き取り、ピアニカなど、教育的な活動にも取り組んでいます。その活動を通して、正しい姿勢で着席し、話が聞けるように練習しています。
小学校への期待を大きく膨らませている子ども達、保育所での思い出をたくさん作ってほしいです。

母と子の健康

健康診査	対象者	日時（受付時間）
母子手帳交付	妊娠とわかったら、なるべく早く母子手帳の交付を受けましょう	9月17日(金) 10月1日(金) 9:00～10:00
10か月児・1歳児健診	2年12月・3年1月生 2年8月・9月生	10月4日(月) 13:00～13:15
ベビーとママのリフレッシュ体操	生後2か月～1歳の誕生日を迎える月までのお子さんとその家族	9月21日(火) 10:00～11:00

◎問い合わせ 保健センター（電話：62-2096）
※乳幼児健診の際には、『母子手帳』『バスタオル』『問診票』を持参してください。当日体調が悪い場合や、都合の悪い方は、保健センターにご連絡ください。

図書館へ行こう

Let's go to Library

＝新着本・CD・DVDのご案内＝

読み聞かせ会

読み聞かせ会は、当分の間お休みします。

◎一般書

『アガワ流生きるヒント』 阿川 佐和子



仕事が忙しすぎてヘトヘト。フラれるのが怖い。定年退職した矢先、妻が認知症に…。恋愛、夫婦関係、親子関係、仕事など、誰もが抱く日常の悩みに、60年の人生経験を積んだ著者が、編集者との対話形式でアドバイスする。

- 『余命一年、男をかう』 吉川 トリコ
- 『さそりたち』 井上 ひさし
- 『コロナが明けたらしたいこと』 うえはら けいた
- 『方向音痴ってなおるんですか?』
- 『あなたの心に火をつける超一流たちの「決断の瞬間」ストーリー』
- 『投資の基本ゆる図鑑』
- 『作ってあそぶ! ままごと&ごっこ』

《お知らせ》

『わが愛する町・斎藤研の新地図録』
をご寄贈いただきました

8月1日から10日まで、



新地町文化交流センターで開催された「わが愛する町・斎藤研の新地」展の図録を一般財団法人斎藤研記念研究会代表の金子訓志様よりご寄贈いただきました。

あわせて、過去に開催された個展の図録『斎藤研 2014 図録』、『斎藤研展図録』(2011年発行)をご寄贈いただきました。ぜひご利用ください。

図書館カレンダー (9月)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

■は休館日



図書館HP
QRコード

◎児童書

『たとえ悪者になっても ある犬の訓練士のはなし』



殺処分するしかない、と宣告された、人を咬む犬たちを更正させるため、どんなにきびしい訓練になろうと、暴力だと批判されようと、ひるまずに立ち向かう実在の訓練士を追ったノンフィクション。

- 『ぼくのがっこう』 鈴木 のりたけ
- 『うわばききょうだい』 西田 征史
- 『1話10分 謎解きホームルーム』
- 『早すぎた天才知られてないけど、すごかった』
- 『小学生なら知っておきたいもっと教養366』
- 『たのしくてむちゅう! ディズニープリンセスめいろとさがしあそび』

◎CD

- 『ぐされ』 ずっと真夜中でいいのに。
- 『X』 DISH
- 『アメイジング・ウクレレ』 オータサン

◎DVD

- 『銀魂2』
- 『プリキュア ミラクルリープ みんなとの不思議な1日』
- 『ふるさとのまつり2020 浜通り版』

《展示コーナー》

『季節のおすすめ絵本展示』

9月29日(水)まで

9月に読むのにぴったりな、おつきみ、敬老の日、動物をテーマにした絵本を展示・貸出します。

《お詫びと訂正》

広報しんち8月5日号に掲載しました『りらく6月号』の紹介文中の目黒重真の出生地は、正しくは真弓村です。お詫びして訂正いたします。

救急車の適正な利用をお願いします

9月9日は救急の日です。相馬消防署新地分署では救急車の適正利用について啓発活動を行っております。

令和2年度に新地救急隊が出場した42%が入院を必要としない軽症者（不搬送を含む）でした。軽症者の中にはご自身で病院を受診できるなど救急車を利用する必要がなかった軽い症状の人も見受けられました。

「病院へ行く？救急車を呼ぶ？」悩んだりためらわれた時は下記の連絡先にご相談ください。

- 相馬消防署新地分署（電話 62-2117）
- 救急相談センター（電話 #7119）
- 小児救急電話相談（電話 #8000）

救急車を呼ぶ前に考えよう



救急車は
地域の限られた救急資源



救急車は限りある医療資源です。

救急車を本当に必要とする人のために、
みなさんのご理解とご協力をお願いします。

※イラストは総務省消防庁「消太」のフリー素材です。

◎問い合わせ 相馬消防署新地分署（電話：62-2117）

敬老会贈呈式

お年寄りを敬い、長寿を祝う「令和3年度敬老会」は規模を縮小し、敬老会贈呈式として開催します。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年行われていたアトラクションや敬老会の式典は中止とします。ご了承ください。

贈呈式対象者に対しては別途通知を行い、出欠確認をさせていただいております。

日時 9月22日(水)
午前10時～
場所 農村環境改善センター



◎問い合わせ
健康福祉課（電話：62-2931）

暮らしの情報



新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ

町では、ワクチンを接種していない方で接種を希望する方に新型コロナウイルスウィルス感染症の発症を予防するため、ワクチン接種を進めております。

新型コロナウイルスワクチンを接種していない方で、接種を希望する方には、9月中旬以降、町内医療機関での個別接種を予定しております。接種を希望する方は、保健センターまでお申し込みください。

申込期限 9月15日(水)
接種料 無料

※新型コロナウイルスワクチン接種の申し込みは今回が最終となります。

◎申込・問い合わせ
保健センター

☎62-2096

農地等での爆音機使用の注意点について

水田や果樹畑等において、鳥害を防止するため、大きな音が発生する爆音機等を使用する場合は、次の点に十分注意してください。

1. 設置箇所、音量および設置台数を適正に使用すること。
 2. 住宅地等に隣接している場合は、爆音機等は極力設置せず、防鳥ポールや防鳥網等を使用すること。
 3. 爆音機等の使用時間は夜明けから日没までとし、夜間は使用しないこと。
- また、住宅地周辺においては、早朝（概ね午前6時以前）の使用はできるだけ控えること。

◎問い合わせ 農林水産課
☎62-2194

秋の全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動が9月21日(火)～9月30日(木)までの10日間にわたり行われます。交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を徹底し、交通事故防止に努めましょう。

運動のスローガン
安全は
気配り目くばり
思いやり

運動の重点

1. 子供と高齢者を始めとする歩行者の安全の確保
2. 夕暮れ時と夜間の事故防止と歩行者等の保護など安全運転意識の向上
3. 自転車の安全確保と交通ルールの遵守の徹底
4. 飲酒運転等の悪質・危険な運転の根絶

◎問い合わせ
町民課 ☎62-2116

令和4年度新地町任期付職員募集

町では、任期付職員採用候補者試験を次のとおり行います。

採用職種および採用人員
指導主事 1名

受験資格 教育に関する識見および学校における教育課程、学習指導その他学校運営に関する専門的事項についての力量と資質を有し、公立学校等において、

教員として令和4年1月1日現在で通算10年以上実務経験がある方

※次のいずれかに該当する方は受験できません。

①日本の国籍を有しない方

②禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで、またはその執行を受けることがなくなるまでの方

③新地町職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない方

④日本国憲法施行の日以後において日本国憲法または

その下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した方

⑤学校教育法第9条の欠格事項に該当する方

任用期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日（更新になる場合があります）

試験方法

第1次試験 書類選考（職務経歴書、小論文）

合格発表 10月上旬

第2次試験 個別面接

合格発表 10月下旬

申込手続き 役場総務課で交付する試験申込用紙に必要事項を記入し、職務経歴書、小論文を提出してください。

※詳しくは町ホームページに掲載します。

受付期間 9月6日(月)～9月22日(水)（執務時間中）

※郵送の場合は9月17日(金)消印有効

◎問い合わせ

総務課
☎62-2111

相馬方部衛生組合職員 (行政職)二次募集

相馬方部衛生組合では、公立相馬総合病院や組合事務局で働く職員(行政職)を募集します。

職種・採用予定人員

【行政職】

大学卒業程度 1名程度

採用予定日

令和4年4月1日

主な勤務地

公立相馬総合病院

組合事務局(相馬市役所内)

受験資格

昭和61年4月2日以降に生まれた方で大学(短大を除く)以上を卒業

または令和4年3月までに卒業見込みの方

試験方法

一次試験Ⅱ教養試験、専門試験、適性検査

二次試験Ⅱ論文試験、面接試験

試験日・試験会場

一次試験Ⅱ 10月17日(日)9時

相馬市中央公民館

二次試験Ⅱ 12月中旬予定

受験手続および受付期間

受験案内および試験申込書等は、組合事務局で交付するほか、公立相馬総合病院、および町のホームページからもダウンロードできます。用紙出力後、試験申込書等に必要事項を記入の上、必要書類を添えて提出してください。

また、郵送により受験案内および試験申込書等を請求する場合は、封筒の表に「採用試験申込用紙請求(行政職)」と朱書きし、120円切手を貼付した宛先明記の返信用封筒(角形2号)を必ず同封してください。

受付期限 9月22日(水)必着

必要書類

試験申込書、指定の履歴書(自筆、写真添付)、返信用封筒(長形3号、84円切手貼付、宛先明記)

◎申込・問い合わせ

相馬方部衛生組合事務局総務課

☎35-4124

福島広域雇用促進 支援協議会からの お知らせ

ドローン講習

物流・測量・空撮など、ドローンに対する関心は高く、導入する企業が増えていきます。安全運航のルールや操縦の基礎を学び、就職のための新たな技術を身に付けませんか。

日時

【企業申込型】10月21日(木)

【個人申込型】10月22日(金)

9時15分～17時15分

申込期限

【企業申込型】10月6日(水)

【個人申込型】10月13日(水)

会場 馬事公苑

(南相馬市原町区片倉字畦原4-1)

定員 各20名

(企業申込型は1社2名まで)

内容

座学、実技、小テスト

講師 FUKUSHIMA DRONE

SCHOOL

※受講料・テキスト代無料

※申込締切後、当該事業の趣旨に基づき厳正に選考し、選考結果は電話にてご連絡します。

※新型コロナウイルス感染症予防策を講じ開催します。

◎問い合わせ 福島広域雇用促進支援協議会福島統括窓口

☎024-524-2121



ホームページ
QRコード



「働くこと」の 悩み相談

福島県北・相双地域若者サポートステーション(厚生労働省委託の支援機関)では「働くこと」に悩みを持っている15～49歳までの無業状態の方とその家族をサポートします。

一人で悩まずにまずはお気軽にお問い合わせください。あなたの踏み出す一歩に寄り添います。

開所日

月曜日、水曜日、金曜日、

土曜日(月2回)10時～18時

火曜日、木曜日10時～19時

詳しくは左記QRコードで

ご確認ください。



ホームページ
QRコード

◎問い合わせ

福島県北・相双地域若者サ

ポートステーション

☎024-563-6222

文化交流センター 町民ギャラリー利用案内

文化交流センターでは、ラウンジの一部を「町民ギャラリー」として開放いたします。

写真、絵画、書道など、日頃の創作活動の発表や鑑賞の場所としてご利用下さい。



※展示場所写真

展示場所	ラウンジの一部
展示の広さ	区画スペース：幅 360cm × 奥行 120cm 壁面スペース：幅 360cm × 高さ 300cm
利用資格	町民（町内通勤通学者含む。）または町内で活動する団体等
展示期間	1回の展示につき最大 14 日間 (休館日を含む。)
申込方法	文化交流センター窓口にて「利用申込書」を提出してください。 ※利用申込書は文化交流センター窓口にて備えてあります。
利用料金	無料
搬入・展示および撤去	開館時間内に利用者（個人・団体）が行ってください。
展示および展示品に関する条件	<ul style="list-style-type: none"> ・期間中の展示品の管理は、利用者の責任において行ってください。 ・展示品の破損、紛失、盗難その他の事故について、文化交流センターは責任を負いません。 ・次のいずれかに該当する作品は、利用の制限をすることがありますのでご注意ください。 <ul style="list-style-type: none"> ※営利を目的とした作品 ※特定の宗教活動または政治活動に関する作品 ※公序良俗に反する作品 ・施設や備品に毀損が発生した場合は、利用者の責任で原状回復を行ってください。

◎問い合わせ 文化交流センター（電話：32-1301）

9月29日（水）・30日（木）に総合検診を実施します！

特定健診・健康診査・がん検診を保健センターで実施します。

今回は、社会保険加入の方を主な対象としていますが、国民健康保険加入の方などで6月に受けられなかった方も受診できます。

検診について不明な点は、お早めに保健センターへお問い合わせください。

受診時にご持参ください

- ・総合検診受診票
- ・自己負担金
- ・健康保険証
- ・受診券（社会保険等の被扶養者の方で特定健診を受けられる方）

受付時間

午前8時～11時

場所

保健センター



◎問い合わせ 保健センター（電話：62-2096）

わくわくランド イベント情報

■ハロウィンキャンドルを作ろう

開催日時 9月19日(日)

① 10時30分～12時

② 13時30分～15時

場所 わくわくランドふれ

あいキッチン

内容 IHキッチン、グヒーターを使用して、キャン

ドル作りができます。

定員 30名※先着順

参加対象 6歳以上の方

※小学生以下は保護者同伴

とする

参加費 無料

申込方法 当日受付

※定員になり次第終了

※1回の申込につき3名まで

■わくわく秋の寄せ植え教室

開催日時 9月26日(日)

① 10時30分～12時

② 13時30分～15時

場所 わくわくランド多目的ホール

内容 秋に咲く花を使用し

て寄せ植えします。

定員 各回20名(合計40名)

参加対象 中学生以上

講師 はなまるガーデン

参加費 1人500円

応募方法 左記のいずれかの方法(応募多数の場合は抽選)

・FAX(62-5988)

・官製はがき

・わくわくランド窓口

【申込事項】

1. 参加者氏名

2. 年齢 3. 電話番号

4. 住所 5. 希望時間帯

※申込事項の記入漏れは無効となります。

申込期限

9月15日(水)まで

※官製はがきの場合、9月15日必着

◎問い合わせ

相馬共同火力発電株式会社

新地発電所内 わくわくラ

ンド ☎62-4722

http://sonakyoka.co.jp

電話受付・開館時間

10時～16時

休館日/毎週月曜日(月曜

日が祝日の場合は翌平日)

(令和3年7月21日～令和3年8月20日届出)
この期間の掲載を希望される出生届出はありませんでした。

掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。



ご冥福をお祈りします

(令和3年7月21日～令和3年8月20日届出)

(名前) (年齢) (地区)

齋藤 勲	81歳	明地
佐藤 英代	88歳	新地町
小野 俊文	84歳	小川
小泉 久仁夫	77歳	今泉
荒 春子	83歳	今神
後藤 利典	76歳	原相善

掲載を希望しない方は、届出のときにお申し出ください。

今月の納付

国民健康保険税 第3期
介護保険料 第3期
後期高齢者医療保険料 第2期

9月30日(木)までに納付、または引落口座残高の確認をお願いします。

◎問い合わせ

税務課 (電話: 62-2119)

健康福祉課 (電話: 62-2931)

人の動き

福島県現住人口
調査月報に基づく

人口 /	7,841人	(+2)
男 /	3,915人	(±0)
女 /	3,926人	(+2)
世帯数 /	2,777世帯	(+8)

令和3年8月1日現在

() は前月比



東京2020パラリンピック 聖火フェスティバルが開催されました！

東京2020パラリンピック聖火フェスティバルとして、町内の子どもたちが集いオリジナルキャンドルを作成し、そのキャンドルに点火した火を、「新地町の火」として送り出しました。

この火は、浜通りの火から、福島県の火となり、東京2020パラリンピック聖火リレーに使用されました。

オリジナルキャンドル作成

8月8日、勤労青少年ホームで講師に町内有志でつくる任意団体「みらいと」の日下智子さんを迎えオリジナルキャンドルの作成および火起こし体験を行いました。

町内の小・中学生と保護者、合わせて15名が参加しました。

点火式

8月11日、文化交流センター(観海ホール)で点火式を行いました。

8日に作成したオリジナルキャンドルを台に並べ、そこに種火を灯し聖火用ランタンに納め大会の成功を祈りました。

浜通り採火式

8月12日、東京2020パラリンピック聖火リレーの集火に向けた「浜通りの火」の採火式が、Jヴィレッジで行われ、浜通り13市町村の種火がひとつになりました。

▼オリジナルキャンドル作成



▼点火式



▼浜通り採火式

